

---

# ただ・・・君を愛してるだけなのに・・・

瑠榎RUKA

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ただ・・・君を愛してるだけなのに・・・

### 【Nコード】

N6733C

### 【作者名】

瑠榎RUKA

### 【あらすじ】

学校でいつものようにいじめられてた時に助けてくれる君がいた、  
、なのに、僕わ、、、もう君わない、僕はまた、一人になっちゃ  
った。

## プロローグ

### プロローグ

「・・・この度、皆様、牧原貴奈様の送別会にいらっしやいまして、真にありがとうございました。」貴奈のお母さんわ、泣きながら、ずっと、

「なんで、」ってゆいながら、帰ってしまった、その場に、もちろん、僕はいた、貴奈は動かない・・・呼んでも、無視。そうゆうとき、いつも、貴奈が怒ってる時しかしないことだ。やはり・・・僕は・・・涙が、止まらないほど、泣いてた。そして、家に帰ったら、布団の中で落ち込んだ。

「なんで・・・あの時・・・ぼくわ・・・」僕は・・・人間として・・・

「最低だ・・・」あの時、アイツの手を・・・離さなかったたら・・・僕のせいだ・・・

「貴奈・・・まだ怒ってるの？」いつものように・・・呼んでた名前が・・・呼び難くなって・・・ある日突然・・・忘れたら・・・。

「怖い・・・助けて・・・もう、一人ぼっちわ・・・嫌だ。」僕はあの日以来、学校に一度も行ってなかった、約束したのに、ごめんな、貴奈。また、いじめられるのが、怖いから。そう、僕わたただのおくびよう物だから。

## プロローグ（後書き）

うーん、

この話わフィクションです、

だけど、本当にこのはなしわ在るかもしません。

それと、文字間違えてたら。おしえてください>><

どうか、よろしく願います

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6733c/>

---

ただ・・・君を愛してるだけなのに・・・

2010年10月26日09時35分発行